

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	(仮称) 郷土資料館整備事業			事業番号	13-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部	谷亀 博久	教育総務課 歴史文化担当	立花 実	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	
		施策展開の方向	6	いつまでも学び生きがいがあるまちをつくる	
		施策	13	歴史・文化遺産の活用と継承	
予算事業名	(仮称) 郷土資料館整備事業				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成27年度	～	終了年度	—
関連法令等	文化財保護法、伊勢原市文化財保護条例				
国・県の計画等	神奈川県文化財保存活用大綱		計画期間		
関連個別計画	伊勢原市第2期教育振興基本計画 伊勢原市歴史文化基本構想		計画期間	平成30年度～令和4年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	<ul style="list-style-type: none"> ・市域に所在する多くの文化財を紹介する常設展示施設が求められています。 ・地域活性化を進める上で、日本遺産を含む市域の文化財が有効な資源となっています。 				
目的 (何をどうしたいのか)	市民から寄贈を受けた土地・建物を有効活用し、市内外の人々に地域の歴史と文化財を公開する(仮称)郷土資料館としての整備に向けた検討を進めます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民及び市への来訪者				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に向け、具体的な施設のあり方について検討を進めます。 ・(仮称)郷土資料館として供用開始するまでの間においては、認定された日本遺産の構成文化財や市内の貴重な文化財等を紹介する仮設的な展示会を開催し、活用を図ります。 ・施設と敷地の適正な維持、管理を図ります。 				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	施設のあり方の検討	検討	検討	検討	
	施設を利用した展示会等の開催	実施	実施	実施	
施設維持・管理	実施	実施	実施		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	施設を利用した展示会等の開催件数	1回 (平成28年度)	2回	2回	2回



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	施設と敷地の適正な維持管理を図りながら、認定された日本遺産の構成文化財や市内の貴重な文化財等を紹介する仮設的な展示会等を開催し、また、寄贈、収集資料の整理場所として活用を図ります。また、中期的な視野に立ち、施設の活用方法について検討を進めます。				
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外				
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者		
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先		
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容		
実施結果	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	施設のあり方の検討	検討	検討	検討	
	施設を利用した展示会等の開催	実施	実施	中止	
	施設維持・管理	実施	実施	実施	
実施した取組の内容	施設の有効活用を図るため、市史編さん事業で収集した資料をはじめとする市所有資料の整理場所として活用を図りました。施設の維持については、適正な管理に努め、また、今後のあり方についての検討を行いました。しかし、施設を利用した文化財フェスタについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。				
目標の達成状況	【指標名】	年度			
		【現状値】	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	施設を利用した展示会等の開催件数	1回 (平成28年度)	1回	1回	0回

	年度		平成30年度 実績		令和元年度 実績		令和2年度 実績							
コスト	事業費合計 (a)		2,477	千円	80	千円	0	千円						
	内訳	国県支出金 ①	0	千円	0	千円		千円						
		地方債 ②	0	千円	0	千円		千円						
		その他特財 ③	0	千円	0	千円		千円						
		一般財源 (a)-①-②-③	2,477	千円	80	千円	0	千円						
国県支出金の内容														
その他特財の内容	受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		前回の改定時期										
	その他													
人件費	正規職員		0.5	人	4,255	千円	0.4	人	3,480	千円	0.38	人	3,268	千円
	その他の職員		0	人	0	千円	0	人	0	千円		人	0	千円
	人件費合計 (b)		0.5	人	4,255	千円	0.4	人	3,480	千円	0.38	人	3,268	千円
トータルコスト (a)+(b)		6,732	千円	3,560		千円	3,268		千円					
単位当たりコスト	対象数	定義	展示会・講座の参加者数		単位	展示会・講座の参加者数		単位	展示会・講座の参加者数		単位			
		対象数	189	人	211	人	0	人						
	総事業費 / 対象数	35,619	円	16,872	円									

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input checked="" type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	C	左記判断理由	施設の管理については適正に実施しました。展示会である文化財フェスタの開催については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業を中止しました。また、市所有資料の整理作業については、新たに会計年度任用職員を雇用し、計画どおり進めることができました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市事業内容等	神奈川県内には市民からの寄贈施設を展示施設として利用している事例が少なく、他市との比較は難しい状況です。また、予定していた展示会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、他市と同様に実施を中止しています。
有効性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	施設については利用価値が高いものの、個人の住宅であったことから利用方策には制約があります。新たに資料整理の場として活用し、利用方法の幅を広げています。今後も継続して、ふさわしい施設の活用策を検討していく必要があります。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	文化財フェスタについては、新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため事業を中止しました。維持管理については必要最低限の経費で対応しましたが、市所有資料の整理は、効率的に進めることができています。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	施設の維持管理については、引き続き適正に管理していきます。老朽化も進んでおり、状況に応じた対処が必要となります。また、施設の有効活用については、イベントの参加者に固定化が見られるため、幅広い年齢層にも興味を持っていただく事業としていくことが課題です。
令和3年度の取組方針	施設の老朽化が進んでいるため、日常的な管理を徹底し、修繕等の実施について、的確に判断していきます。展示会については、新型コロナウイルス感染症に対応した方策を検討するとともに、新たな層へ働きかける試行的な取組を実施する必要があります。また、本施設において実施している収集資料の整理作業については、計画的、継続的に実施していきます。
所管部長による総評	施設を利用して新たに始めた市所有資料の整理作業について、今後も計画的に実施し、その成果を資料の有効活用に結びつけていく必要があります。また、市民団体の活動成果を発表する文化財フェスタを開催するとともに、施設のあり方について総合的に検討していく必要があります。